

	令和3年 5月7日(金) 19時00分～21時00分							
会 場	非常事態宣言中のためオンラインにて開催							
運 営 委 員	オンライン	壽賀 一仁	オンライン	村上 むつ子	オンライン	嶋田 浩一	オンライン	平澤 和哉
	オンライン	児島 秀樹	オンライン	横山 真理	オンライン	水田 征吾	オンライン	原島 秀一
	オンライン	長浜 洋二	オンライン	佐々木 真紀	オンライン	梶井 文子	オンライン	熊谷 紀良
	オンライン	萩原 治	オンライン	高木 直				
事務局	橋本、池田							

1 委任状交付について

オンラインのため、画面越しに説明。次回手渡す予定。

2 あいさつ

社会福祉法人調布市社会福祉協議会 事務局長 橋本 ゆかり

事務局長 橋本より挨拶した。

3 運営委員自己紹介・・・資料①

一人2～3分程度、自己紹介を行った。

《ミニ講義と前期の取組み紹介》 19:30～20:15

4 「運営委員の果たす役割～市民に開かれたセンター運営を進めるために～」

講師：枝見氏

講師の枝見氏よりミニ講義を受けた。

5 市民活動支援センター中長期運営方針と前期の取組みについて・・・資料②・③

・前期の主な取組み（センターが取り組む4つのテーマ）

①えんがわフェスタで多様な市民参加を！

②市民が使いやすいセンターに！

③えんがわカフェで新たな出会いと学びの場を！

④えんがわファンドで市民活動支援と寄付文化の醸成を！

項目5番は時間の都合上、今回は割愛し、次回の運営委員会で紹介することとした。

《審議事項》 20:15~20:50

6 正副委員長の選任について

【事務局】 要綱で定められているが、委員の中から、委員長1名、副委員長2名を選出したい。立候補いただける方はいないか。

※立候補者はいなかった。

【事務局】 では、事務局から推薦として、委員長に前期委員長であった壽賀氏。副委員長に嶋田氏、横山氏を推薦したいがいかがか。承認頂ける方は拍手で承認の意思表示をいただきたい。

※異議なし 全委員の拍手にて承認された。

- 審議結果 運営委員長：壽賀委員
- 副委員長：嶋田委員
- 副委員長：横山委員に決定した。

7 社会福祉法人調布市社会福祉協議会 理事候補者の推薦について

【事務局】 市民活動支援センター運営委員長に兼任をいただいております、委員長にお願いしたい。いかがか。

【委員長】 はい。皆さんのセンター側からの意見を代弁出来るような形で、社協の事業にも貢献していきたい。

- 審議結果 壽賀委員長が理事候補者として承認された。

以下、進行を事務局から委員長に交代。

8 令和3年度えんがわファンド選考委員（案）について・・・資料④

【委員長】 まずは事務局から資料の補足説明をいただきたい。

【事務局】 えんがわファンドの選考委員は、運営委員会の承認を得て決定をすることになっている。資料4の今年度の選考委員候補者5名を見ていただきたい。昨年度から変わった方が1名いる。毎年、調布チャリティウォークから1名の推薦をいただいているが、昨年度は北村氏だったが、今年度は南條氏を推薦いただいている。この5名について承認いただきたい。

【委員長】 簡単に新國氏の紹介もいただきたい。

【事務局】 新國氏は、昨年度までセンターの運営委員を担っていただいた方。今年度は市内企業経営者の立場で、地域で活動する団体の選考に意見をいただきたいと考え、昨年度に引き続き候補者として挙げさせていただいた。

【委員長】 承認いただける方は挙手願いたい。

※意義なし 委員全員の挙手によって承認された。

- 審議結果 選考委員会（案）は挙手にて承認された。別紙、資料4参照

9 令和2年度市民活動支援センター事業報告（案）について・・・資料⑤

【委員長】 事前に事務局あてになにか質問等があったか。

【事務局】 今日時点までは特になかった。

【委員長】 承知した。事前には出せなかったが、この場であれば挙手願います。

※挙手はなし

【事務局】 事務的にチェックした中で、言い回しや「てにをは」の部分で複数個所訂正が出ているが、細かい修正は、事務局に任せていただいてよろしいか。

※意義はなし

【委員長】 それでは、事業報告についての承認を挙手でお願いしたい。

※異議なし 挙手にて承認を行った。

●審議結果 事業報告（案）は全委員の挙手によって承認された。

10 令和2年度市民活動支援センター資金収支決算報告（案）について

・・・資料⑥・⑦

【委員長】 それでは、資金収支決算報告（案）について、質問等はいかがか。

【委員】 会費収入等未確定のところはあるかと思うが、見込みに関して確認をしたい。決算として厳しい状況かと思うが、どうしていくのかを少し説明していただきたいと思う。

【委員長】 事務局から説明をお願いしたい。

【事務局】 資料にもあるが、会計が2種類になっており、もともとの成り立ちから、市民活動支援センターサービス区分とボランティア活動推進サービス区分に分かれている。1つずつ説明したい。決算説明資料の6-1について、調布市協働推進課から市民活動支援センターの運営委託を受け、出ているものになる。資料下方の赤字で記載の租税公課の項目があるが、これは4月に最終的な支出項目のまとめが終わった後に、専門職に計算いただき、市民活動支援センターとしてかかる消費税が確定する。そのため現在は、概算として数字が入っている。これから確定する租税公課の数字に前後が出ても、最終的には調布市への返還金額の中で相殺可能と考えている。

続いて、ボランティア活動推進サービス区分だが、法人全体の一般会計の中に位置付けられており、確定項目は黒文字となっている。ページトップの収入項目で、会費収入未確定だが、法人全体の会費収入から、他事業との兼ね合いで、それぞれに必要な額を充てているため、最終的な確定の数字が決まっていない。現時点では0（ゼロ）となっている。ページを進めて事務費支出の項目で未確定になっている振込手数料だが、3月期に支払いをした支出の振込みが4月に行われる。請求書で届くものが4月末になるものがあるために、手数料も未確定となっている。租税公課の項目についても、市民活動支援センターサービス区分決算と同様で、課税部分の計算がこれからとなる。消費税額が確定したところで、収支総額の不足分を法人で持っている会費収入で補填する。ご理解いただければと思う。

【委員】 センターだけの問題ではないが、不足分を会費収入で補充するという、ひねり出しをしなければならないというようなことは、今後の課題でもある。共通認識として、運営委員会でも考えて行きたい。

【委員長】 新任の方々には分かりにくい構造だと思う。今年度も厳しい財政状況が予想されるが、中間支援組織として資金をどう捻出していくのかという課題も含めていい質問だった。

【事務局】 一点説明をしそこねたが、市民活動支援センターサービス区分については予定事業がコロナで出来なかった関係もあり、協働推進課との協議を経て他科目、消耗品やコロナ対策費等で有効活用したが、人件費等の支出が予定より減じたことなどの要因があり、大きな数字での返還見込となった。

【委員長】 ありがとうございます。ほかには何かありますか。

※挙手、質問はなし

【委員長】 では、議題10番、決算報告（案）について承認を得たい。承認をいただける方は挙手願いたい。

※挙手にて承認を行った。

●審議結果 資金収支決算報告（案）は委員全員の挙手にて承認された。

《報告事項》 20:50~21:00

1.1 「令和3年度えんがわファンド」実施状況について・・・資料⑧

- ・申請受付団体数 4団体（新規1団体、継続2団体、再開1団体）
- ・えんがわファンド選考委員会

日時：5月21日（金） 19時～21時

【委員長】 えんがわファンド申請状況について事務局から説明をお願いしたい。

【事務局】 資料8番になる。結論から申し上げますと、今年度は4団体からの申請となった。資料4番目の団体「セルフエスティーム」という団体が今年度の新規申請団体になる。一番上の「あおい発達障害者当事者会」は2年前に申請を頂き助成した団体で、再開となった。2番、3番の2団体は昨年度からの継続団体になる。この他にも相談はあったが、コロナ禍の状況を鑑み、申請を見送った団体もあった。最終的に4月28日の締め切りまでに申請を頂戴したのがこちらの4団体。今後の予定としては、5月21日に、先に承認をいただいた、選考委員の5名の方に選考委員会で助成決定いただくこととなる。緊急事態宣言の関係もあり、オンラインでの実施となっている。選考委員会で助成決定した金額を6月に申請団体へ振込みをする予定。

【委員長】 既に申請も締め切られており、報告事項でもあり、新任の方には最初の会議でシステムが十分に伝えきれていない中での承認や確認で大変申し訳ないが、なにか質問等はよろしいか。

※質問なし

1.2 令和3年度主な事業予定及び運営委員会の議案予定について・・・資料⑨

【委員長】 これも事前に資料が送付されているが、主な事業予定の共有になる。簡単な紹介を事務局からお願いしたい。

【事務局】 はい。資料の9番。あくまでも過去に実施してきた事業を中心に作成したもので、今年度実際に実施が出来る出来ないや実施時期変更等の可能性もあるので暫定的なものとなる。2軸あり、センターで行っている行事が、資料の青で示している列。運営委員会で扱った議案等が緑となっている。あくまでも仮となる。質問、確認を受付たいと思うがいかがか。

※質問、確認等はなし

【委員長】 宜しいでしょうか。資料は固有名詞、略称が多くて、新しい方には何が何やらということがあると思われるが、資料5の昨年度の事業報告とあわせて確認していただけると、概要は理解いただけるかと思う。多くの活動が地域で継続し積みあげてきているもの。予定であって、コロナ禍のなかでどうなるか分からないが、市民や各団体の創意工夫によって、今年度も実施されていくものが多いかと思うが、それに対して運営委員会が協力出来るところを一緒に探して考えていくことが、議題となったり、具体的なアクションになったりするだろうということを、今の時点ではイメージしていただければありがたい。

《その他》

1.3 今後の市民活動支援センター運営委員会の日程調整について

【委員長】 それでは、今後の日程について事務局からお願いしたい。

【事務局】 運営委員会の日程については、なるべく早めの日程調整をしていきたいと思っている。まずは6月と7月の候補日から参加可能な日程を選んでいただいて、5月12日までに返信いただきたい。

【委員長】 是非皆さんと対面でお会いしたいが、オンライン活用も含め、柔軟に日程調整をしてセンターの運営を支えていきたいと思う。協力をお願いしたい。予定時間より18分程超過したが、以上で議事は終了したが、なにかアナウンスメント等がある方はいないか。

【委員】 いいでしょうか。これは委員長から報告をいただきたいが、北部公民館で「国際理解講座」をされますよね。えんがわフェスタの延長にある活動を継続されていると思うので、是非、共有をしていただきたい。

【委員長】 ありがとうございます。時間超過もあるので、後日メールリストで案内をしたい。本日出来なかった現行の中長期運営方針とそれに基づく4本柱の活動報告に関連する話題についての発言が委員からあった。本日取り残した大事な議題である。皆さんと共有したいと思う。

【委員】 最後にすみません。6月12日に、3.11の震災から10年という節目でちようふこどもネットが、石巻にワカモノプロジェクトとして支援に行ったり、調布から復興支援プロジェクトの活動とも一緒させていただいた経緯も

あり、オンラインで、それらの振り返りをやろうということが決定した。詳細が決まり次第メーリングリストで配信させていただきたい。

【委員長】 それでは議事進行を事務局へお返ししたい。

【事務局】 今後につきましては、出席の皆さんに発言、議論をいただけるよう会議の工夫等も含め、一緒に作っていただけたらと思う。運営委員会の開催日程も、今年度から平日夜間だけではなく、土曜日の日中、土曜日の夜間も候補日に加えている。なるべく多くの方が参加しやすい日程で調整をしていきたい。また、運営委員会の場合だけでなく、メーリングリストを活用いただいて、コミュニケーションを図っていただきたいと思う。

●次回の運営委員会の日程については後日事務局にて取りまとめとした。